

事務事業実績測定調書

R5調書番号 331

事務事業名称	留守家庭児童会室維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	学校教育部			課	放課後子ども課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実							

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1966(S41)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	留守家庭児童会室在籍児童			
	サブターゲット	留守家庭児童会室在籍児童の保護者			
	ターゲットが抱える課題	児童の安全性等を確保する観点から、老朽化が進む施設等について、改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に整備することにより、入室児童が安全・安心かつ快適に生活できる状態				
事業概要	市立小学校に開設している枚方市立留守家庭児童会室について、老朽化に係る修繕、電化製品の修理、市有建築物定期点検等の委託、座卓・掃除機等備品の購入等、適切に維持管理を行い、児童会室の円滑な運営に資する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						入室児童が安全・安心かつ快適に生活できる。				修繕など必要な維持管理を行う。			
指標設定	指標説明					施設維持管理に係る苦情件数				修繕件数			
	指標種類					単位		件		単位		件	
						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標 (見込み)				0	0	0	0	50	50	50	50		
実績				89	63	75	90	30	52	173	307		
達成度						80%				614%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12, 617	10, 760	23, 685		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	12, 617	10, 760	23, 685		
	物件費計		23, 620	22, 026	23, 566	23, 857	98. 8%
歳出計		36, 237	32, 786	47, 251			
歳入	国庫支出金		0	0	3, 964	4, 897	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置のもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	3, 964	4, 897	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	7, 928	9, 794	
一般財源（物件費に充当されるもの）			23, 620	22, 026	15, 638	14, 063	

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 332

事務事業名称	留守家庭児童会室運営事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部				課	放課後子ども課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1966(S41)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	児童福祉法、枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	留守家庭児童会室在籍児童			
	サブターゲット	留守家庭児童会室在籍児童の保護者			
	ターゲットが抱える課題	・年度途中の入室申込において、留守家庭児童会室によっては定員超過となるため、待機となる場合がある。 ・入室児童数の増加傾向は継続しており、運営に必要な施設や人員の確保が困難となっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入室を希望する児童が全て入室できること。円滑な児童会室運営を通じて、児童が安全で快適な生活を過ごせ、その保護者が安心して預けることができる状態。				
事業概要	保護者の労働・病気等により、保育を必要とする小学1年生から6年生までの児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、もってその健全な育成を図ることを目的に、枚方市立留守家庭児童会室を各市立小学校に開設しており、各児童会室の定員は基準条例に基づき設定している。通常の申込期間である1月末までに定員を超える申込があった場合は、待機児童解消のため臨時定員を設定している。また、年間で7～9日程度、土曜日に臨時開室を実施している。平成23年度からは拠点方式で4か所において障害のある5・6年生を受入れていたが、平成30年度から全学年の受け入れを開始した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		入室児童が安全で快適な生活を 過ごせ、保護者が安心して児童を 預けることができる。				申し込みに対し、適切に審査したう えで入室決定処理を実施する。				入室を希望する児童の保護者から 入室申し込みが行われる。				
指標設定	指標説明	待機児童数(1月末時点)				入室決定した児童数				受付した入室希望者数				
	単位		人		単位		人		単位		人			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	4,800	4,800	5,000	5,000	4,800	4,800	5,000	5,000
		実績	0	94	0	0	4,743	4,691	4,637	4,511	4,790	4,995	4,726	4,996
達成度	100%				90%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.00
再任用	0.80
任期付職員	9.60
会計年度任用職員	64.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	389,738	323,379	73,613		
	会計年度任用職員	228,943	165,520	256,931		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	618,681	488,899	330,544		
歳入	物件費計	37,606	83,582	575,864	601,644	95.7%
	歳出計	656,497	572,481	906,408		
	国庫支出金	19,582	27,547	99,308	120,947	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	19,162	27,547	99,212	120,767	
	受益者負担（使用料、手数料）	16,133	27,515	161,575	181,730	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	93,185	120,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	54,877	82,609	453,280	543,444	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	973	122,584	0	

5. 総括的分析

総括的分析	臨時定員を設けるなど弾力的な運用を図り、1月31日現在の入室資格を有するすべての児童を受け入れることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	放課後の居場所の充実として、留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供サービスの実施に向けて取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 333

事務事業名称	留守家庭児童会室整備事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	学校教育部				課	放課後子ども課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針			R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1966(S41)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	留守家庭児童会室在籍児童			
	サブターゲット	留守家庭児童会室在籍児童の保護者			
	ターゲットが抱える課題	入室児童の増加と施設老朽化に伴い、必要となる整備が増加していること			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入室を希望する児童が全て入室でき、安全・安心かつ快適に生活できる状態				
事業概要	建築後年数の経過している留守家庭児童会室の建替え等を行い、児童の安全性と快適性を確保することを目的として、計画的に留守家庭児童会室施設の建替え及び学校施設の活用による整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		児童の生活環境の改善が図られる。	一人当たりの保育面積をもとに、適正な必要保育面積を設定する。	留守家庭児童会室の建替え・修繕、学校の余裕教室の改修等を行い、保育スペースを確保する。
指標設定	指標説明	保育面積充足率 【算出式: 保育面積／必要保育面積×100】	必要保育面積	整備を実施した留守家庭児童会室数
		単位 %	単位 平米	単位 室
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	達成度	131%	100%	-

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努めることができた。また、施設の老朽化等について、今後、建替えや、改修が必要になるため、検討を行う。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 340

事務事業名称	留守家庭児童会室情報端末導入事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	学校教育部			課	放課後子ども課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	～	2022 (R4) 年度 年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	放課後子ども課及び児童会室職員			
	サブターゲット	入室児童の保護者等			
	ターゲットが抱える課題	児童会室職員の出退勤や時間外勤務申請等について、現在は紙ベースで事務処理している。また、児童会室で作成する保護者宛のお便り等を手書きで作成しており、多くの時間・コストを要している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	服務関係事務等をシステム化して、課及び児童会室職員の事務負担の軽減及び学校連絡便等で行ってきた文書の受け渡しや、保護者等への連絡も正確かつ迅速化が図れている状態。				
事業概要	各市立小学校で実施している留守家庭児童会室事業について、当面、市直営を継続する児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出退勤システム等の情報端末の導入を推進する。 情報端末は校舎外の児童会専用室に設置し、庁内LAN、メール等を基本に制限付でネット接続が可能な形で導入を進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						課及び児童会室職員の事務負担の軽減				児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出退勤システム等の情報端末を導入							
指標設定	指標説明					年間削減時間外勤務時間数				情報端末を導入した留守家庭児童会室数							
					単位	時間	単位	箇所									
	指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値									R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)								630	2,520	-	-	30	29	-	-
		実績								491.50	3,712	4,110	-	29	29	29	-
達成度						-				-							

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	1,579		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	1,571	1,562	1,579		
	物件費計		10,339	27,225	27,562	27,802	99.1%
歳出計		11,910	28,787	29,141			
歳入	国庫支出金		0	4,313	5,495	6,788	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	4,313	5,495	6,788	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	8,626	10,990	13,576	
一般財源（物件費に充当されるもの）			10,339	18,599	16,572	14,226	

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度までに、予定していた全ての児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出退勤システム等の情報端末導入が完了した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	情報端末の導入は完了したが、引き続き職員の事務の負担軽減や、効率的な運営に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 426

事務事業名称	総合型放課後事業(放課後キッズクラブ)												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	放課後子ども課				
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会教育法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、枚方市附属機関条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	児童の放課後対策審議会				
事業対象	メインターゲット	市内に居住する小学生			
	サブターゲット	市内に居住する小学生の保護者			
	ターゲットが抱える課題	全ての児童が安全・安心に仲間と過ごすことができる時間と空間を用意し、より豊かな放課後を再生するとともに、保護者が安心して仕事等に専念できる環境(「小1の壁」の打破)の整備が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての就学児童が、放課後や土・日曜日、三季休業期間中に、安全・安心な学校敷地内で、1年を通して仲間とともに自由に自主的に遊べる環境が整備されるとともに、小1の壁が打破された状態。				
事業概要	全ての児童を対象とした居場所づくりと増加する就学後の保育ニーズに対応するため、「放課後オープンスクエア(放課後子ども教室)」を実施することで、ニーズに応じて「留守家庭児童会室」と「放課後オープンスクエア(放課後子ども教室)」を選択できる環境を整備する。実施に向けて、留守家庭児童会室の現状等も踏まえ、安定した運営を確保するため、民間活力を活用した運営委託の推進を図り、令和5年度の総合型放課後事業実施は直営22校、委託22校とする。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		子どもたちの健やかな成長に重要とされる「時間」「空間」「仲間」いわゆる「3間(サンマ)」が充実した環境の中で、児童の自主性や社会性、創造力などが育成される。	希望する児童が放課後子ども教室を利用する。	放課後子ども教室を市立小学校で順次実施する。
指標設定	指標説明	放課後子ども教室および放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室に参加した児童と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足度」と回答した人数/アンケート回答者数×100】	放課後子ども教室の年間延べ利用人数	放課後子ども教室実施校
		単位 %	単位 人	単位 校
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	— 80 80 80	— 3,600 3,600 127,600	— 4 4 44
	実績	— 76.24 84.10 78	— 3,244 3,128 265,959	— 4 4 44
	達成度	98%	208%	100%

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		子どもたちの健やかな成長に重要とされる「時間」「空間」「仲間」いわゆる「3間(サンマ)」が充実した環境の中で、児童の自主性や社会性、創造力などが育成される。				希望する児童が留守家庭児童会室を利用する				放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室を実施する			
指標設定 ②	指標説明	放課後子ども教室および放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室に参加した児童と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足度」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				待機児童数(4月1日時点)				放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室数			
	単位		%		単位		人		単位		校		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		—	80	80	80	—	0	0	0	—	4	4	44
	実績	—	76.24	84.10	78	—	56	138	6	—	4	4	44
達成度		98%				90%				100%			

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	2.40
再任用	0.80
任期付職員	9.60
会計年度任用職員	61.57
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

4. 決算額
(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,521	11,327	68,876		
	会計年度任用職員	2,561	771	244,134		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	143	181	228		
	人件費計	20,225	12,279	313,238		
歳入	物件費計	42,559	66,262	168,758	169,736	99.4%
	歳出計	62,784	78,541	481,996		
	国庫支出金	3,228	7,308	82,936	59,162	
	府支出金	0	287	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
歳入	その他	0	0	7,301	9,126	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	3,228	7,595	90,237	68,288	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	39,331	58,667	78,521	101,448	

5. 総括的分析

総括的分析	「留守家庭児童会室」と「オープンスクエア」を一体的に運営し、就学後も保護者が安心して就労できる環境と、子どもたちが学校で楽しく安全に過ごせる環境の整備を目的とした総合型放課後事業を全校(直営22校、委託22校)で実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、就学後も保護者が安心して就労できる環境と、子どもたちが学校で楽しく安全に過ごせる環境の整備に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 732

事務事業名称	枚方子どもいきいき広場補助事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	放課後子ども課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方子どもいきいき広場事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方子どもいきいき広場事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内の小学生			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	小学校の授業日が週5日制になったことや地域における世代間交流が減少傾向にあることから、児童の健全な育成を図る場を確保する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市全小学校区に住む児童に対し、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを提供することで、児童の健全な育成を図る場所がある状態。				
事業概要	土曜日の学校休業日を基本に、地域団体やNPO等により、各校区の小学1年生～6年生を対象に、スポーツや英語のほか、体験学習や昔遊びなど、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを実施する。市においては、活動実績等に応じた補助金を交付するとともに、運営にあたってのアドバイス等の支援を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		児童の健全な育成を図ることが出来る。	地域の特色や多様性をいかしたプログラムを提供する。	各校区の小学1年生～6年生を対象とした、地域団体やNPO等の活動実績等に応じた補助金を交付する。
指標設定	指標説明	参加した子どもにおける事業の満足度 【算出式:満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数×100】	参加児童数	いきいき広場事業実施団体数
		単位 %	単位 人	単位 団体
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	85 80 80 80	53,280 53,650 54,020 54,390	45 45 44 44
	実績	0 88.40 - 88.90	10,287 12,782 34,329 34,505	45 45 44 44
達成度		111%	63%	100%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.53
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,235	3,906	3,948		
	会計年度任用職員	2,288	1,903	1,955		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,523	5,809	5,903		
	物件費計	16,661	25,584	26,206	31,212	84.0%
歳出計		22,184	31,393	32,109		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,661	25,584	26,206	31,212	

5. 総括的分析

総括的分析	市内44小学校区全てにおいて、「子どもいきいき広場」が実施され、補助金（基準額補助金、活動実績加算金、障害のある児童サポーター加算金）交付による支援のほか、専門アドバイザーの巡回による相談支援等を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を生かしたプログラムを児童健全育成事業として引き続き実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 903

事務事業名称	放課後子ども課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	放課後子ども課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	放課後子ども課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
達成度													

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2, 611	18, 740	15, 001		
		会計年度任用職員	6, 611	5, 273	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	9, 222	24, 013	15, 001		
	物件費計		458	593	961	834	115. 2%
	歳出計		9, 680	24, 606	15, 962		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	25	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	25	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		458	593	936	834		

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営を円滑行うため適切な事務執行を行うことができた。
-------	------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営を円滑に行うため適切な事務執行を行う。